

作業所物品販売

# 架け橋 3号

東北作業所⇔尼崎

2012年8月配品

2011年11月10日、東北仙台と尼崎にバスが運行されました。第1回の「東北-関西の架け橋プロジェクト」によるバス運行でした。13時間かけて仙台へ到着し、「被災地障がい者センターみやぎ」を訪問しました。そのことを架け橋として、宮城の作業所の物品を買い取り、尼崎の障害者関連の方々、市民団体の方々、企業商店街の方々をお願いしながらの尼崎市民への販売事業が始まりました。第1回目は12/9宮城より11品目250個の商品が届き、販売を終えました。きょうまで主な購入3度、細かなものを含めて7回になります。

今後も2か月に1回程度、購入していきます。息永いご支援を心よりお願い申し上げます。

事業主体:NPO法人尼崎障害者センター 代表理事 広瀬 徹  
受付電話番号:090-8793-2133 ファックス:06-6418-1342

## 6/16-18に東北の作業所を訪問してきました

2012年6月16-18日NPO法人シンフォニー主催の「東北-関西 架け橋バス」で東北を訪問しました。

尼崎のボランティア高岡さんと「被災地障がい者センターみやぎ」(仙台市)で笈川代表にお会いし、その後作業所定期販売網「B-NET」の田中さんに、車で「多夢多夢舎中山工房」を案内していただきました。好評の「あじ味噌」の製作元です。おいしい味をブレンドしてくれている森さんにもお会いしました。お昼は中山工房の経営する食堂「たむたむ亭」でヘルシーなお魚定食をいただきました。

6/29、調理中の写真とお便りが届きました。

先日は遠いところご来舎いただき、誠にありがとうございました。

お話のあった「あじ味噌」作成中の画像をお送りいたします。

早急に画像を送るはずでしたが、あじ味噌の作成が本日になってしまい、送るのが遅くなったことお詫び申し上げます。

締め切った場所での調理と、暑さが厳しくなってきた季節のため作成担当舎員の森さんは大量の汗をかきながら味噌作りに勤しんでいます。「僕の作った味噌が尼崎でも販売されている」という注文が来ることに喜びを感じながら作成しています。

これからもよりよい商品を提供できるようにがんばっていきますので、今後ともよろしく願いいたします。 多夢多夢舎中山工房



あじ味噌製作中の森さん

## 宮城の障害者作業所の物品を注文ください

作業所名	商品名	単価	写真
<p>麦の会</p> <p>仙台市宮城野区松岡町</p>	<p>バタークッキー                      (北海道産よつ葉のバター使用                      のプレーンクッキー)</p>	350 円	
<p>パンとクッキーの店</p> <p>就労継続支援B型事業所</p>	<p><b>NEW</b></p> <p>ごまクッキー                      (白ごまがたっぷり入った甘さ                      控えめの香ばしいクッキー)</p>	350 円	
<p>多夢多夢舎中山工房</p> <p>仙台市青葉区中山2丁目</p> <p>レストラン「食香房たむ                      たむ亭」も運営</p>	<p>あじ味噌                      (田楽味噌やふろふき大根、焼き                      おにぎりに。少しあぶると香ばし                      さが)</p>	500 円	
<p>就労継続支援B型事業所</p>	<p>ポストカード                      (お米の紙の袋を材料として作                      りました)</p>	1 枚 150 円	
<p>まどか荒浜</p> <p>津波で全壊、現在は仙台                      市のワークキャンパスで                      活動再開</p> <p>就労支援多機能型事業所</p>	<p>福幸だるま (ふっこうだるま)                      直径 10cm のかご入り</p>	600 円	

<p>工房地球村 宮城県亙理郡山元町真庭 字名生東</p>	<p>いちご物語（手ぬぐい） 朝採りイチゴジャムが農家の 被害でできなくなり、手作りで染 めた手ぬぐいです。</p>	<p>1枚 1050円</p>	
<p>山元町社会福祉協議会共 同作業所</p>	<p>いちご物語（せっけん） 地球村手作りです。</p>	<p>1個 350円</p>	
<p>ぎんの星 宮城県東松島市矢本字太 子前</p>	<p>乾燥しいたけ(25g)</p>	<p>300円</p>	
<p>はらから福祉会 宮城県登米市迫町新田字 山居</p>	<p>ごぼうかりんとう (厚手の鉄鍋でじっくり焙煎。香 ばしい味が楽しめます。)</p>	<p>350円</p>	
<p>13の施設作業所を運営 就労移行・就労継続支援 B型事業所</p>	<p>エビかりんとう (厚手の鉄鍋でじっくり焙煎。香 ばしい味が楽しめます。)</p>	<p>350円</p>	
	<p>青のりかりんとう (厚手の鉄鍋でじっくり焙煎。香 ばしい味が楽しめます。)</p>	<p>350円</p>	

# 東北訪問

6/17、中山工房をお別れしたあと、田中さんに仙台市海岸部へ寄っていただきました。

昨年11月「架け橋バス」で仙台を訪問して物品販売するようになったとき、半日一人で仙台市の海岸部中野地区、蒲生地区を歩きました。

あれから半年たっているのですが、全く同じでした。建物の土台だけが残っています。人や工場が戻ってこれる状態ではないのでしょうか。

前回訪れた時、海岸に近い跡地でおまいりしたおじぞうさんにお会いしました。泥に少し汚れたぬいぐるみのおもちゃが供えてあります。きっとお孫さんかこどもさんの遺品なのだろうと胸が衝かれます。

一軒一軒の家族の皆さんの思いが広がっている跡地で、これからどのような復興があるのでしょうか。

海岸が見えないくらいびっしりとあった松林防風林が全くなっています。復興に一体何年かかるのか、気の遠くなるように思いました。

次の日6/18、被災地障がい者センター石巻支部へ行く途中、ずっと海岸部を走っていただきました。

石巻では津波が駆けのぼった北上川の川べりを走ってもらいました。その恐怖はどれほどだったでしょう。もし私たちなら逃げられなかっただろうと思いました。

後日、障害者の死亡率が健常者の2倍に上っているとの新聞報道がありました。

走っていく海岸部はどこも同じでした。

震災から1年半たちますが、広い跡地です。押し流されなかった頑丈な家屋だけが残っていて、あとはがれき処理として広い跡地になっています。

津波に襲われた福島県・宮城県・岩手県のすべての海岸部がこのようです。

海辺で日々の生活を送っていた方々が、ことごとくすさまじい水量と圧力にさらされたのです。

どのように「まち」を復興させていくか、私たちにどのような支援が出来るのでしょうか。

(記 広瀬)



仙台市蒲生地区海岸部



海岸部跡地のおじぞうさん



石巻市海岸部跡地



石巻市海岸部 残っている家屋

東北被災地作業所物品販売事業

NPO 法人尼崎障害者センター

〒660-0063 尼崎市大庄北3丁目25番1-104号

受付電話番号 090-8793-2133

ファックス専用番号 06-6418-1342

ホームページ <http://hanbaikakehashi.jimdo.com/>